

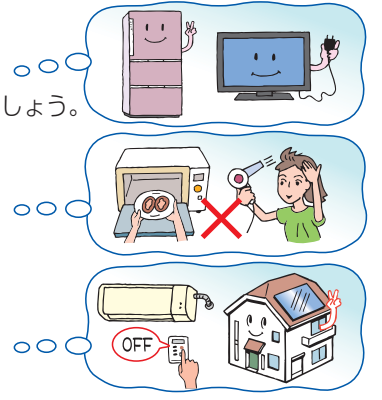
家庭でできる

節電対策

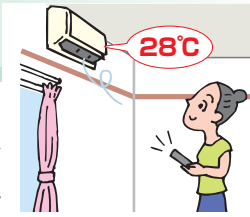
使用電力の15%削減を目指しましょう

節電のための3つのポイント

- 1 電気の使用を減らす**
 - テレビや冷蔵庫など省エネモードが搭載されている家電製品を省エネモードに変更しましょう。
 - 使っていない家電製品は、プラグをコンセントから抜きましょう。
- 2 電気の使用時間をすらすら**
 - 家電製品は、電気使用量が多い時間帯(朝9時~夜8時)を避けて、使用しましょう。
 - 使用時間をすらすらせる家電製品は、タイマーを利用しましょう。
 - 家電製品の同時使用は避けましょう。
 - 一度に多くの家電製品を使用せず、順番に使いましょう。
- 3 使い方を切り替える**
 - 省エネ製品への買い替えや、家電製品を使用しない方法を検討しましょう。



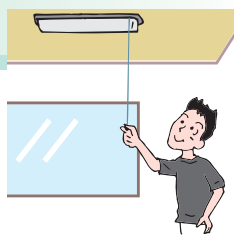
エアコン



- 冷房の温度設定は28℃を目安に (10%削減)
 - 暑さは窓から入ってくるので、窓にブラインドやカーテン、よしずをかけたり、緑のカーテンを設置すると効果的です
 - 冷房時の風向きは上向きにし、扇風機で空気をかき混ぜると部屋全体が涼しくなります
- フィルターをこまめに掃除 (月に2回程度)
 - 目詰まりしたまま使用すると、むだな電力を消費します。掃除をすると冷房で約4%の削減に
- 無理のない範囲でエアコンを消して、扇風機を使用 (50%削減)

無理な我慢はせず、服装をくふうしたり、こまめな水分補給をするなど、熱中症に注意し、無理のない範囲で節電しましょう。

照明



- 人のいない部屋や廊下の照明はこまめに消灯
 - 日中は昼光を利用し、照明の使用を控え、夜間の点灯も最小限に (5%削減)
- 照明のかさの掃除をすると明るさアップ
- 長時間使わないときは、リモコンよりも壁スイッチを切る
- 白熱電球を電球形蛍光灯やLED電球に交換 (電球形蛍光灯は白熱電球の4分の1以下、LED電球は8分の1以下の消費電力で済み、寿命も長いので取り換えの手間も軽減)

冷蔵庫



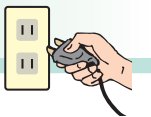
- 設定温度を「強」から「中」に
- ものを詰め込みすぎない (2%削減)
 - 冷蔵庫は透き間を空けて、冷凍庫はぎっしり入れると効率アップ
- むだな開閉をやめ、開けている時間を短縮
 - 冷蔵庫から出すものを決めてから扉を開け、さっと取り出す。ドアの開閉回数を50回から25回にすると、約6%の削減
- 庫内にビニールカーテンを取り付ける

テレビ



- 省エネモードや画面の輝度を下げる設定をし、不要なときは消す (2%削減)

その他



- 本体の電源を切る。また長時間使わないときは、プラグをコンセントから抜き、待機電力を減らす (2%削減)
 - 家庭で消費する年間電力量のうち、6%が待機電力です
- ジャー炊飯器 (電気炊飯器) 早朝にタイマーで1日分まとめて炊き、冷蔵庫で保存する (2%削減)
- 温水洗浄便座 (暖房便座) 保温、温水のオフ機能、タイマー節電などの機能を活用する。この機能がないときは、プラグをコンセントから抜く (1%削減)

ご存じですか 省エネラベリング制度

統一省エネラベルは、省エネ基準達成率、年間消費電力量、1年間の目安の電気料金のほか、省エネ性能を5つの★で表しているのので、家電製品の省エネルギー性能がひと目で比較できる便利な情報です。

エアコン、テレビ、冷蔵庫、電気便座、蛍光灯器具を購入するときは、次のものを選びましょう。



- ・★の数が多いもの
- ・省エネ性マーク がグリーンのもの
- ・省エネ基準達成率の数字が大きいもの
- ・目安電気料金の安いもの

また、買い替え効果を簡単に比較できる「しんきゅうさん」のホームページ (<http://shinkyusan.com/index.html>) では、買い換えた場合の電気代の削減額なども簡単にわかるので、参考になります。

電気使用量などを調べてみませんか

私たちの家庭の1日の電気使用量や待機電力などを測定することができる機器を貸し出しています。

種類	省エネナビ	エコワット	ワットチェッカー
使用方法	分電盤接続	コンセント差し込み	コンセント差し込み
測定項目	電気使用量、電気料金、二酸化炭素排出量ほか	電気使用量、電気料金、使用時間ほか	電気使用量、電流、電圧、電源周波数ほか

新エネ・省エネ機器設置モニター助成受付中

太陽光発電設備などの新エネルギー・省エネルギー機器の設置費用の一部を助成しています。太陽光発電設備に対する助成額は、10万円を限度に1キロワット当たり5万円です。他の機器および詳細については、下記へ問い合わせください。

中小規模事業者向けの「省エネルギー診断」(東京都事業)

省エネ診断や運用改善支援を通じて、エネルギー使用のむだをなくし、「経営にやさしいコスト削減」と「環境にやさしいCO₂削減」の両立についての支援が受けられます。

問合せ 東京都地球温暖化防止活動推進センター
電話：03(5388)3439 HP：<http://www.tokyo-co2down.jp/>



問合せ

環境部環境保全課

☎042(346)9536 FAX042(346)9643

✉kankyohozen@city.kodaira.lg.jp

